

[制作記録]

奥能登における芸術と地域の融合についての研究

-奥能登アートプロジェクト2015-

A Research on a Relationship between Art and Places through the Art Project in Noto 2015

坂本 英之 SAKAMOTO Hideyuki (研究メンバー代表)
 中瀬 康志 NAKASE Koji
 真鍋 淳朗 MANABE Junro

「能登の里山里海」として奥能登は2011年、日本で初めて世界農業遺産に認定された。伝統的農法やそれに関わり産まれた文化や景観、生物多様性と土地利用、それは世界的にも重要であり、次世代へと継続していくべきものである。さらに「あえのこと」や「キリコ祭り」、そして「揚げ浜式製塩法」といった伝統文化も営々と受け継がれて現在に至っている。

奥能登アートプロジェクトは、こうした奥能登の里山里海において、アートを媒体に地域住民と連携しながらフィールドワークによる現地調査を行い、地域の特性を活かした奥能登独自の在り方とその行方を共に探ることを目的としている。一方で、このプロジェクトは東アジアに囲まれた環日本海の中心に位置する奥能登が、世界に開かれた多文化共生・交流推進の中心的役割を担えることを実証する為の試みでもある。こうした成果をさらに継続し、近い将来に奥能登において人と風土と歴史との交歓、国際的芸術祭が開催されることを目指すものである。

珠洲市は、能登半島の先端に位置する農山漁村である。近代以前、渤海使、北前船など、日本海を舞台とした海上交通が盛んであったころ、交流の中継基地として栄え、祭り、焼き物、家屋などに独特の様式をもたらした。しかし、近代以降の海運から陸運への交通手段の変化は、半島の先端という地理的条件を不利にし、過疎化が進行。1954年38,000で

あった人口は、現在では15,000となっている。

このような状況で地域の再興をはかるべく、2017年に奥能登国際芸術祭を開催する機運がうまれた。現代アートを媒介として地域の特性や課題を浮き彫りにし、将来にわたる地域づくりの指針と地域活性化の礎をつくることを目指している。また、アーティスト・住民・ボランティアが一体となってつくりあげるプロセスを通して、地域を超えた協同のネットワークを育むことも目指している。

地球環境の悪化と資本主義の倫理性が問われ、日本列島の成立と未来を考えなくてはならない現在、珠洲の持っている日本文化の原型、忘れられた日本の重要性が増してきていると言える。開催されたシンポジウムでは、アート、地域づくり、食文化、祭り・民俗芸能、歴史・文明といった幅広い視点から、奥能登国際芸術祭の展望について考えるきっかけができた。

(さかもと・ひでゆき

環境デザイン専攻／都市・建築デザイン)

(なかせ・こうじ

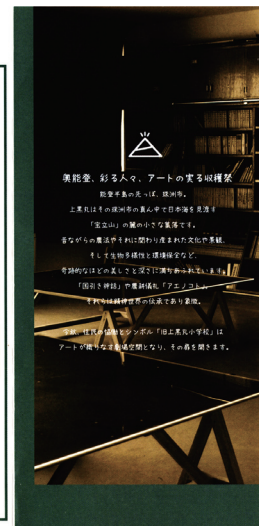
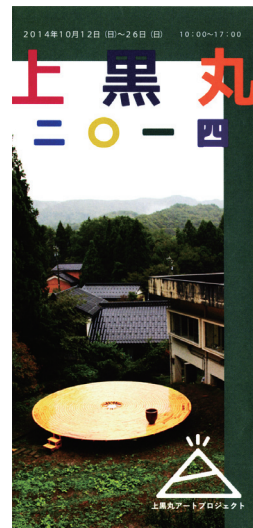
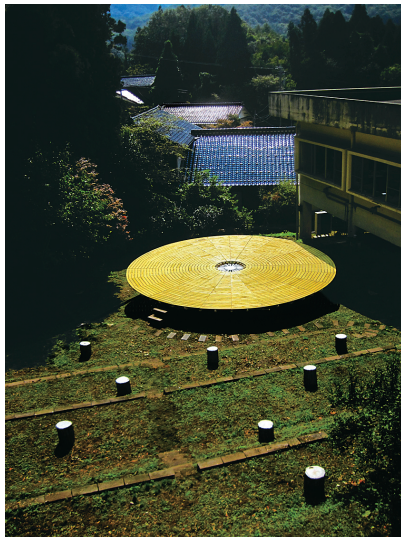
彫刻専攻／ミクストメディア)

(まなべ・じゅんろう

油画専攻／アートプロジェクト)



「風の音プロジェクト」
北山集落 6/26~7/2、飯田町 8/9~8/17



プロジェクトイベント「上黒丸」／上黒丸劇場全景（制作、中瀬康志）／リーフレット／開会式（珠洲市市長）／珠洲
ちゃんがり保存会／劇団「座・パンチライナー」公演（上黒丸生涯学習センター）



「巡回むかしがたり幻燈会」九州フィールドワーク研究会
現地制作の移動式竹ドームによる、住民より提供して頂いた写真を使用したプロジェクト



「北山鯨講」
坂巻正美と上黒丸鯨組
古来より交流のあった山と海との関係を『鯨』をキーワード
に作品化し、談義を行う



上黒丸月見茶会 『テント茶室』





1



旧上黒丸小中学校（生涯学習センター）



2



3

例）参加作家、学生作品

1. 別府充貴「サルでもできる実験装置2」2013
2. 尾崎太亮「MMR」2014
3. 原田昌典「土地の記憶」2014
4. 山内 祥太「瞬く間に」2013
5. 大山日歩「ぞわぞわ上黒丸」2014



4



5



住民説明会／シンポジウム

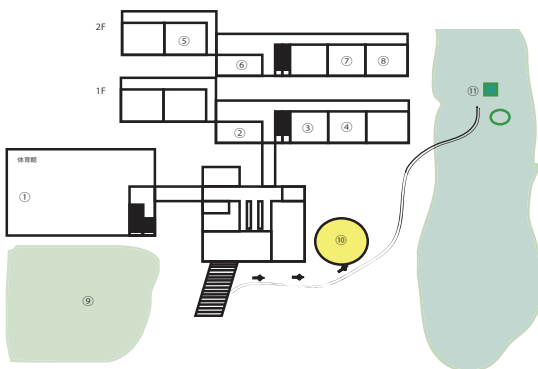


市議会議員視察



学生バスツアー、オープニング参加

作品展示場所



作品番号	場所	作者	作品タイトル
①	体育館	森田采希子	「タイムライン」
②	理科室	大山日歩	「ぞわぞわ上黒丸」
③	一年教室	松本慎吾	「てるこ 75」「あい 86」「ちようきち 81」
④	三・四年教室	別府充貴	「実験装置 2」(2013 年度作品)
⑤	図書室	秋吉かずき	「上黒丸天文台」(2013 年度作品)
⑥	音楽室	尾崎太亮	「MMR」
⑦	教室	河合直人	「訪れ、再び。」
⑧	教室	仲敏輔	「隠居のものらの手を引いて」
⑨	校庭	九州フィールドワーク研究会(野研)	「テントドーム」
⑩	中庭	中瀬康志	「上黒丸劇場」-月を映す花舞台-
⑪	森の中	原田昌典	「土地の記憶」-神のいた場所-

掲載記事

2014. 9 .28	北國新聞	「竹のドームで映像作品上映」
2014.10.10	北國新聞	「昭和の珠洲、映像で紹介」
2014.10.12	北國新聞	「珠洲の里山に野外舞台」
2014.10.13	北國新聞	「造形展示、野外舞台で劇ー珠洲・上黒丸でアートイベント」
2014.10.13	北國新聞	「能登の鯨漁紹介ー珠洲・上黒丸廃校舎で談義」
2014.10.18	北國新聞	「金沢美大生が指導ーUFO模型作り」
2014.10.20	北國新聞	「釉薬で好みの器にー珠洲でアートプロジェクト」
2014.10.21	北國新聞	「5 角テントで茶会ー珠洲・上黒丸アートプロジェクト」
2014.10.26	北國新聞	「作品鑑賞、里山を歩くー珠洲 上黒丸アートイベント」